キャラクター名
春泪夫 藍花(かさぶ らんか)

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル ウロボロス	ワークス	B.I.N.D.S.エージェントA	カヴァー	理髪師
オプショナル		年齢		性別	男性
覚醒	渇望	衝動	飢餓	初期侵食率	34 %
出自	天涯孤独	経験	力の暴走	邂逅	慕情

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3		0		1	4
感覚	2		0			2
精神	2		0			2
社会	1		0			1

HP	30
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵		1	射撃			ＲＣ			交渉		
回避			知覚			意志		1	調達		1
運転：			芸術：			知識：情報:B.I.N.D.S.		2	情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
Az型変異種	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
亜純血	P	N		
最愛の人	P 純愛	N 悔悟		
隊長	P	N 隔意		
グラヴィティホール	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
妖の招き	1	2	メジャー	20m	単体	対決	-	
効果： 1シーンにLv回までダメージを与えれば自分のエンゲージに引き寄せる。								
異形の祭典	2	3	メジャー	-	Lv＋1	対決	-	
効果： 対象をLv＋1に変更。シーン1回。								
伸縮腕	1	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果： 白兵攻撃を範囲化。ダイスーLv－3								
餓鬼玉の使い	1	3	オート	視界	-	自動	-	
効果： 邪毒３ 1シーンにLv回数。								
がらんどうの肉体	2	3	オート	至近	自身	自動	ピュア	
効果： ダメージ-レベル+2ｄ(亜純血)								
原初の紫(復讐の刃)	2	6	オート	至近	単体	対決	-	
効果： リアクション時に白兵攻撃 ｃ値－Lvｄ リアクション不可 基本侵食値＋3．コスト＋1								
ブレインハック	1	10	メジャー	至近	単体	対決	-	
効果： 憎悪付与。1シーンに一回まで。								
骨の剣	3	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： 素手変更→白兵。命中－1。攻撃Lv＋5 ガード値6								
デモンズウェブ	2	2	オート	10ｍ	単体	自動	80%	
効果： ダメージ-レベル+1ｄ ラウンド1回まで								
Az型変異種	1							
効果： 下記アイテム欄参照。								
十徳指	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果： 仕事するときにハサミを形成する								
生体侵入	★	4	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果： 見初めた相手を内部から自分好みに改造(洗脳)していく								
超人的代謝	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果： 主食の髪の毛やゲテモノを消化する鋼の消化器官								

B.I.N.D.S.「リブラ隊」所属のエージェント。元々はごく一般の理髪師だったが、とあるきっかけでB.I.N.D.S.オーヴァードとして覚醒した。「人に好意を抱かない」ことを信条にしており、基本的に周りの人間やUGNのオーヴァードに対して必要以上に関係を持たず、彼なりに一線を引いている。理髪師ということもあり、UGN内に自身の理髪店を置いてもらっており、職員たちの髪を整えている。支部内で声をかけて客を捕まえることがあり、特にロングヘアの女性職員にショートヘアを勧めていることが多い。
戦闘スタイルとしては、作り出した鋏を相手に伸ばして傷つけ、その際に自身の一部を寄生させる。そうして内側から壊していきながら脳へ侵入させじわりじわりと洗脳していく。思考を歪ませ執着心を発生させ、自分に向かってきた攻撃を受けたうえで切り刻む。いつしかその洗脳は、徐々に相手を弱らせ遂には自身に盲真させるように仕向けて行く。そうしていつか、かつての敵(食材)は、懇願する「どうか、私を食べてください。」と。(これに関してはフレーバーで大丈夫です)
普段は、所謂ゲテモノ(奇異な食材や極端な味付け)や髪を主食としている。(人の肉は普段は食べない)かつての最愛の人の髪を色、質、香を再現したものが好物。一番の好物はかつての恋人であり最愛の人だが、次点が愛していい獲物”裏切者(ダブルクロス)”であり、見方がソレに変わった時…彼の表情は歓喜に歪み、執拗に追いかけ、いつか獲物自ら彼に跪き”食べて下さい”と懇願するのだ。喰らっていいと(彼の中での)大義名分を得るために。

(以下は過去話)
彼には、愛する人がいた。かつて自身の働いてた理髪店に客として訪れた女性だ。二人は間もなく恋人となり…いつか結婚することも視野に入れていた。彼は、彼女の長く美しい髪が大好きだった。自分が丁寧に手入れした柔らかく真っ直ぐな髪が。
そんなある日、ふと押し倒した彼女の事がとても魅力的に感じた。香り、感触、声…そのすべてが愛おしく”美味しそう”だと思ってしまった。次の瞬間に聞こえたのは悲鳴。ぶちり、と何かが千切れる音…口に広がる温かなスープのような味わい。食と性の快楽に溺れていく…無我夢中だった。全てを喰らい尽しきった時、喪失感と後悔の念に苛まれ一つの強迫観念に憑りつかれる”私は今後一切人を愛してはいけない。”と。それと同時に自分と全てを消してしまおうと力を暴走させて殺戮の限りをやりかけたが、人のほとんどいないホテル内だったのと衝動に駆られて暴れただけだったので人害は出なかった。
その後無力化され呆然としている間に事が進み連行されていった。廃人のように壊れかけていた彼に手を差し伸べたのは今のリーダーだった。